

鯿の湖

文化塾の開催

メインテーマを「五大テーマで探る長浜学」として当会主催の歴史講座を開催します。長浜に関連のある歴史を中心に全五講座で、長浜の歴史や観光に興味のある方々が沢山受講される事を願って計画しました。

受講された方が、長浜の歴史に触れることで、より長浜に、愛着を持って下さり、もっと深く勉強してみたい思いや、ガイド活動で長浜にお見えになる人たちに、長浜を案内する活動に参加したい思いに添えるための、ボランティアガイド養成講座でもあります。現会員の方の受講も可能です。

(内容詳細はポスター・チラシを御覧下さい)



秋の長浜は行事がいっぱい

10月6日(土) 7日(日)
アートインナガハマ

10月8日(月)
大道芸フェスタ in 虎御前

10月13日(土)
長浜火縄銃大会

10月14(日)
豊公まつり

10月14日(日)
観音の里ふるさとまつり

第34回
長浜きもの
大園遊会
2018 10月13日(土)

NPO法人
長浜観光VGI協会
〒526-0059
長浜市元浜町14-12
湖北観光情報センター
☎ 0749-65-0370

発行責任者
馬場智章
編集責任者
宮垣秀太郎



秋の観光シーズンに向けて

長浜へお見えになる観光客の皆様に向けてガイド依頼が多くなるばかりでなく、駅前のチラシ配布やJRの待ち受けもたくさんの人に対応する事になります。ボランティアガイドを通して「長浜に来てよかった」と感じていただけるために研修会だけでなく自主勉強もされ対応準備は万全だと思えます。

ガイドを依頼して下さったお客様だけでなく、町を歩いていると行先に迷っておられる方も時折見受けられます。そのような方に「どこをお探しますか?」と声をかけるのも長浜に好印象を持って頂く事に繋がる大事な仕事かもしれません。

御報告
西日本豪雨災害義捐金の募集に皆様から
¥325,908円
の篤志が集まり社会福祉協議会を通じて被災地に送られました。ご協力ありがとうございました。

活発な研修活動

全体研修 (八月二日)

《明治百五十年 長浜の近代化》

長浜城歴史博物館研修室で、福井智英学芸員を講師に明治時代に長浜がいち早く近代化への歩みを始め、全国に先駆けての鉄道敷設、海上交通の運行、開智学校、第二十一国立銀行の設立、地元実力者達の近代化への尽力を中心に熱く語って頂きました。講座終了後同館で開催中の「明治百五十年長浜の近代化」展の展示解説もして頂きました。



英会話研修 (七月三十日)

外国人の方へのガイドに対応するために森 君枝先生を講師に始まった英会話研修、実践に役立つために、地元施設のガイド内容を英文に書き換え、それを声に出し正確な発音が出来るまで繰り返し練習です。参加者の熱意に感動します。

曳山研修 (八月二十二日・九月一日)

曳山博物館内ガイドを新規事業としてスタートするにあたり曳山会館の森岡栄一学芸員を講師に曳山会館内で、曳山や各種の展示物を前に立派な扇を片手に持って熱い講習をして頂きました。来館者に喜んで頂く為に丁寧な解説だけでなく森岡先生の思いを、お伝えする工夫もしていく必要があると感じる研修会でした。

観音研修 (九月十三日)

「観音まつりの」乗車ガイドに今年も参加するにあたり、当協会の理事長でもありました富岡秀雄先生に講師を勤めて頂きました。

先生手作りの資料を中心に、観音菩薩の由来から、湖北が観音の里になった理由・人気の観音菩薩の紹介・クイズ形式での基礎知識の習得等短い時間でしたが、楽しいガイドをするのに必要なテクニックまで、ご教示くださいました富岡先生ありがとうございました。



湖北ブロック交流研修会 (九月二十六日)

恒例の湖北ブロックの交流研修会が開催されました、午前中は高月町西野の「ミニユティセンター」で成田迪夫氏が「西野水道の歴史」と「古保利古墳群」のテーマでの講演と野洲富男氏が映像を使い「湖北の仏様」「薬師堂と正妙寺」の説明をして下さいました。両氏ともに深い見識と地元愛に裏付けられた素晴らしい内容でした。

午後は二班に分かれ《西野水道》《古保利古墳群》《西野薬師堂・正妙寺》の三か所を現地研修しました。西野水道の見学に際しては全員の長靴・ヘルメットの準備もされ安全に見学する心づかいをして頂き、思ったより短時間で琵琶湖岸に出ることが出来ました。それだけでなく古保利古墳群では登山道の整備も事前にされたりと、今回の担当協会である奥びわ湖観光V.G協会の皆様には心より御礼申し上げる次第で、参加者全員が「有意義な研修会だった」と、感じたと思います。

奥びわ湖観光V.G協会の皆様本当にありがとうございました。



長浜総踊りに想ひ

嘉瀬井 豊

八月四日に行われた第4回長浜総踊りに、NPO法人長浜力観光ボランティアガイド協会が初参加した。私を含め15名の会員の方が踊りに加わり、夏の夜のひとときを楽しんだ。長浜総踊りと言えば、以前、長浜駅前通りで市主催の行事として盛大に行われていた。それがいつの間にか立ち消えになり、私には長浜の灯が消えたように寂しく感じていた。

滋賀県の夏祭り・盆踊りと言えば江州音頭が定番である。県下一田で行われるといふことも素晴らしいのであるが、「彦根ばやし」「や」長浜おどりの「のん」一帯市が固有の唄と舞を持っている事も誇りあるものと思っていた。

橋幸夫が歌う「長浜踊り」は、テンポ良く分かつやすい歌詞で、毎夏のこの歌が流れ出すと、長浜を愛する心、長浜を自慢したくなる心が芽生え心躍ったものである。新たに平成二十七年から始まった長浜総踊りは、商工会議所などが中心に開催しておの規模は以前のように大きくはないが、再び「長浜おどりの」の曲が流れる喜びでいっぱいだ。今後、「の」長浜総おどりの輪が大きくなって、長浜の夏が暑い活気なるものになってほしい。



長浜総踊りについて、私はずっと願望があった。それは、橋幸夫に長浜に来てもらい「長浜おどりの」を歌ってもらうことである。最初は橋幸夫本人の歌声で景気づけをしてもいい、その後は、あらかじめ募集しておいた地元のカラオケ自慢に十人程にリレー式に歌い継いでもらうのである。フィナーレにはもう一度、橋幸夫に占めてもらうのも良い。

「橋幸夫が長浜で唄う」。これがなんとか実現できないものだろうか。

JRハイキング実施報告

藤居きよ子

今年は例年になく猛暑が続く中、八月八日に、JRハイキング「日蓮宗修行僧の『くがき』跡を巡る」を行いました。暑くて参加者もいだろうと思いましたが、当日飛び入りを含め十名の参加となりました。嬉しかったです。

「くがき」寺の妙立寺では十分に時間を取り堪能してもらった事が出来たと思っています。又産経新聞の記者さんもこられました。参加者の皆さんに質問されたり写真を撮る沢山もらいました。ご住職も大変喜んでくださり、参加者全員にジュース・お菓子のサービスをして頂きました。

昼食に旧神田小学校の講堂をお借りしました。明治時代の建物で珍しく満足して頂く事が出来良かったです。神田のため池のハスの花は、少しはやかっただけで、満開とまでは行きませんが、ただ楽しんで頂きました。今後、年に一度は「くがきがき寺」のコースを歩きたいと思っております。



台風二十一号の影響は



豊公園の倒木



豊公園・東屋の屋根破損

各地に風による大きな被害をもたらした台風による被害は大丈夫でしたか? 「瓦が飛んだ」「長い時間停電した」「倒木が沢山あった」等。近年に無い状況を聞くことになりました。忘れないうちに次々に災害が発生する日本列島、今までの常識が通じない、かえって邪魔になる時代に踏み込んだのかもしれない。

ラッピング自販機

四居家南側に設置されている自動販売機に、曳山まつりの情景がラッピングされています。曳山博物館だけでなく四居家の雰囲気向上になるのではないかと感じます。



長浜タワー

街並みに馴染み過ぎて見過ごしてしまいう事もある「長浜タワー」インターネットで検索すると、以外にも多くのサイトで見ることが出来ます。(以下ウキペディアより抜粋)

昭和39年に、地元の資産家が「長浜にも東京タワーのような名物を作りたい」という意向で建設。ビルは5階建てで、その上部に「長浜タワー」と文字の入った鉄塔が立つ(この鉄塔はただの飾りで、東京タワーのような電波の送受信といった機能は一切ない)。計画段階では8階



建ての上に鉄塔を設ける予定だったが、建築許可が下りなかったため、ビル本体と鉄塔の合計の高さが8階建てに相当する高さになるようにしたという。ビル内は雑居ビルになっており、開業当時は5階部分が有料の展望台になっていたが、現在は1階部分に2軒の飲食店が入居している他は閉鎖されている。

なおビル正面には「NAGAHAMA TOWER BUILDING」と英語表記が入るが、「BILL」は請求書、勘定書き、紙幣といった意味であり、スベルミスである。本来ならば「NAGAHAMA TOWER BUILDING」であるべき物であるが、この誤表記がB級スポットとしての醸成に一役買っているという意見もある。

今後B級建物として興味を持った方も訪ねて来られるだけでなく、長浜の名所になる事も考えられます。御案内する施設に加えてみては如何でしょうか。

《今後の予定》

- 十月三日(水) 赤い羽根募金活動(アルプラ北口)
- 十月十四日(日) 観音の里ふるさとまつりのガイド
- 十月十五日(月) 事前城下町研修(長浜城研修室)
- 十月十六日(火) 第一回文化塾(北郷里まちづくりセンター)
- 十月十七日(水) 大通寺の清掃
- 十月三十一日(水) 県外研修(富山高岡市)